

書類 測4 技術者経歴書(測量・設計等) 種目【土木設計】

商号又は名称

〇〇コンサルタント(株)

資格者数	測量士	0	技術士	建設	1	農業(農業土木のみ)	0	森林(森林土木のみ)	0
	測量士補	0		上下水道	0	水産(水産土木のみ)	0	応用理学(地質のみ)	0
	RCCM	1		総合技術監理(上記6部門の選択科目の者のみ)	0	その他の部門	1		
	1級土木施工管理技士	0	その他の技術者						1

以上の資格を保持している女性技術者の人数 → 1
 上記の資格者としてカウントした資格に〇囲みしておくこと。複数の資格を持つ技術者の場合、1人で2つ以上の資格者として計上しないよう注意すること。↓

現況	氏名	上記資格を有する女性技術者	法令による免許等		実務経歴 (過去3年間に従事した主な業務名)
			名称	取得年月日	
○	京都 太郎		技術士(建設部門・道路) 1級土木施工管理技師	H16.4.22 H19.2.24	〇〇調査業務
○	京都 次郎		技術士(農業部門・畜産)	H20.3.26	〇〇業務委託
	京都 松子	○	技術士補(建設部門) RCCM(トンネル)	H27.2.12 H21.4.15	〇〇設計業務
	滋賀 富子		技術士補(農業部門)	H23.1.26	〇〇検討業務

現況報告書様式第18号第7条関係ホへに記載がある者に「○」をつける。
 「○」がない者は、技術者の資格者証と、常勤雇用を確認できる書類を添付する。

上記10種類の資格を有している女性に〇するため、「その他」計上の滋賀富子氏には〇をつけず、人数にも入れない。

上記の資格者として数字を計上した資格に〇をする。
 この4人の場合、京都次郎氏は農業部門であっても農業土木以外なので「その他の部門」に計上、同様に滋賀富子氏は「その他の技術者」に計上し、書類1「競争入札参加資格審査申請書」裏面の⑦に「技術士補」欄を作成して記入。